

て急拡大したため社会問題

働き方で、

労働時間限定正

ていて転勤がないといった

非正規雇用は近年になっ

育児中の女性や高齢者な

一概に悪いわけではない

0

しているが、

それ自体は

地域限定正社員など

している。 は 15 るが、 現役以外の世代なのに対 非正規雇用の割合が高いの 異なっている。男性の場合、 規雇用者の割合の推移であ 占めるまでになっている。 まや雇用労働者の約4割を 6%へと上昇しており、 で見ても15・3%から37・ た(「労働力調査」)。 規雇用者数は、2016年 約600万人であった非正 女別の雇用者に占める非正 には約2000万人となっ グラフは年齢階級別・男 非正規雇用者は年々増加 性別によって特徴が 24歳や65歳以上など 984年には 割合

圍淵 瑟

務管理のコストが削減でき

業所が廃止された時に雇用

たりするのは企業経営上魅 に合わせて雇用を調整でき

徴がある。

ただし、

例えば

規雇用よりも強いという特 りも低いが雇用保障が非正

力的であることも多い

0

労

地域限定正社員の場合、

事

れば、企業の競争力も増すか

側にとっても採用コストを

な存在で、

賃金は正社員よ

社員と非正規雇用の中間的

いる場合もある。雇用する

して非正規雇用を選択して

()

位置づけとしては、

短時間労働を自ら希望

でに導入している企業も多 はさまざまな形があり、 と呼ばれる。限定正社員に

抑制できたり、

市場の動向

らである。非正規雇用が問題

とされるのは、正規雇用との

解決するべき課題もある。 かという懸念などがあり、 自体がなくなるのではない

限定正社員という考え方

女性の就業促進という

育

態

員という制度が注目を集め

これは勤務時間が

きいこと、正規雇用への転換 賃金や雇用保障の格差が大

が難しいことであろう。

最近になって、

限定正社

児と就業の両立支援という 観点からも注目される。

とかく子育ても仕事も

る。 高くなるという傾向があ が上昇するにつれて割合が は子育てをしながら働くと 正規雇用として働き、 いると考えられる。 いった就業選択を反映 男性は定年退職後に非 女性の場合、 年齢階層 と

陽子

働経済学。 研究科博士後期課程修了。 (経済学)。 もりた ようこ 一橋大学大学院経済学 1969年生まれ。 社会保障•

> 通常よりも短く設定されて いたり、 勤務地が限定され

性別・年齢階級別非正規雇用者の割合の推移 男性 女性 (%) 80.0 80.0 70.0 70.0 60.0 50.0 50.0 25-34歳 40.0 40.0 30.0 30.0 ※ 45-54歳 20.0 10.0 0.0 0.0 1990 1995 2000 2005 2010 2015 1990 1995 2000 2005 2010 2015

5年~2001年)、「労働力調査(詳細集計)」(1~3月期平均) (2002~2016年)を基に筆者作成

に注目する 時代にな

は多少低い かも 雇用保障と しれないが

正社員制度によって、

給与 限定

わけでもないだろう。

も対応しなくてはならない

勤務をして、

残業や転勤に

全く同じようにフルタイ

4

裡に想定されている。 完璧にこなす女性像が暗黙

しか

必ず

しも男性正社員と

ば、 いだろう。 る女性も多 るのであれ ことができ 両者を得る ある仕事の やりがいの 歓迎す

学研究科教授

森田

き方の中身 規という区 正規•非正 分よりも働

C中部経済新聞社